令和７年度分　指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター東部		
所在地	塩尻市大字峰原１７３番地１		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和６年４月１日　～　令和１１年３月３１日　　（５年間のうち２年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	健康福祉部　地域共生推進課

１　業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
【コミュニティーソーシャルワーカーの設置】	【コミュニティーソーシャルワーカーの設置】
１　総合相談事業　　1,133件　（健康相談を除く）	１　総合相談事業　　1,177件　（健康相談を除く）
	（１）相談件数　福祉相談　５６７件
	ボランティア相談　３件
	有償福祉サービス　１４６件
	福祉学習　２４件
	地域支援　４１６件
	健康相談　4,765件
	介護　２１件
	（２）相談形式
	電話　５９２件
	訪問　９０件
	来所　２１６件
	会議　１５１件
	（来所件数に健康相談は含まない）
【東部圏域の地域福祉活動の推進】	【東部圏域の地域福祉活動の推進】
１　講座の開催	１　講座の開催
（１）地区講座の開催　月１回　３地区	（１）地区講座の開催　３６回（６１６人）
（２）介護予防講座の開催　月１回　２講座	（２）介護予防講座　２４回（４６３人）
（３）地域福祉活動講座　５回　８０人	（３）地域福祉活動講座
	・認知症学習会　１回
（４）地域支え合い講座　２回　３０人	（４）地域支え合い講座
	・親子でおやきづくり　１回
	・サマースクール　１回
	・筋力アップ講座　５回（３０人）
	・子供の愛着講座　１回
（５）ふれあいサポーター養成講座　１回	（５）ふれあいサポーター養成講座　２回（３０人）
（６）出張型講座　３回	（６）出張型講座
	・出張型講座（ラジオ体操・健康講話）　５回

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
（７）災害時支え合い講座　１回　１５人	（７）災害時支え合い講座
	・防災講座　１回（１６人）
２ 地域支え合い支援	２ 地域支え合い支援
（１）小地域の支え合い仕組みづくり	（１）小地域の支え合い仕組みづくり
・交通課題解決チーム	・交通課題解決チーム
北小野地区移動支援	北小野地区移動支援
	会議　１１回
	北小野地区移動支援検討会　６回
	実証運行　２回
（２）ちょこっと健康トレーニング教室　１２回	（２）ちょこっと健康トレーニング教室
	・ちょこっと健康トレーニング教室　６回（２８人）
３ 社協支部・分会等との連携	３ 社協支部・分会等との連携
	（１）社協支部分会役員等研修会の開催　２回
	（２）社協支部懇談会の開催　３支部
	（３）社協支部総会の参加　３支部
	（４）分会事業説明　１４回
	（５）支部長会議　１回
	（６）協力員研修　２回
４ 福祉教育の推進	４ 福祉学習の推進
	（１）東部圏域支援
	・塩尻中学校、両小野中学校　２校（１１回）
	（２）啓発活動
	・塩尻東小学校、塩尻西小学校　２校（２回）
	（３）福祉教育担当者支援会議　１回
５ 住民福祉活動の支援	５ 住民福祉活動の支援
	（１）子ども食堂　３回
	（２）夜の食堂　２回
	（３）ラジオ体操　５回
	（４）おさがり服会　１回
	（５）松原サロン　４回
	（６）子供愛着講座　１回
（７）ふれあいサポーター活動の支援	（７）ふれあいサポーター活動の支援　１１回
（８）ふれあいサポーター養成講座	（８）ふれあいサポーター養成講座　２回
６ 公民館事業への協力	６ 公民館事業への協力　９回
７ 地域福祉活動計画の推進	７ 地域福祉活動計画の推進
	・市第４次地域福祉計画・社協第６次地域福祉活動計画市民ワークショップ　１回（９人）

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画		実　績	
【健康づくり活動の推進】		【健康づくり活動の推進】	
１ 生活習慣健康講座		１ 生活習慣健康講座	
（１）運動を重視した講座	４期　８０人	（１）運動を重視した講座	
		・からだづくり健康教室（２コース）	９２回（８０６人）
（２）フィットネス	６０人	（２）フィットネス（６教室）	
		・筋膜リリース教室	６回（７４人）
		・背骨コンディショニング教室	６回（９３人）
		・スポーツボイス教室	６回（１０９人）
		・健康ダンス	６回（１３３人）
		・温活教室	６回（８８人）
		・ヨガ教室	６回（９２人）
（３）ステップアップ教室	２回　３０人	（３）ステップアップ教室	
		・からだづくりステップアップ教室	２回（４２人）
（４）機能訓練の運営		（４）機能訓練の運営	2,510人
（５）生活指導を重視した講座	３講座　４５人	（５）生活指導を重視した講座	
		・からだがよろこぶ栄養教室	１回（１８人）
		・お口の健康講座	１回（１０人）
		・ぐっすり睡眠教室	１回（１８人）
２ 健康づくりリーダー研修	２回　３５人	２ 健康づくりリーダー研修	２回（３４人）
３ 健康づくりリーダー活動		３ 健康づくりリーダー活動	３回（２４人）
【世代間交流の推進】		【世代間交流の推進】	
１ 就労支援事業所とのマルシェ	３０回	１ 就労支援事業所とのマルシェ	５９回
２ 季節の行事	４回　４０人	２ 季節の行事	
		（１）桜もちづくり	１３組（２５人）
		（２）木工クラフト	４組（７人）
		（３）季節のお風呂（菖蒲、ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰ、ﾊｰﾌﾞ、りんご）	９回
３ 教室	２回　３０人	３ 教室	
		・家族で運動教室	２回（３９人）
４ 塩尻東保育園との交流		４ 塩尻東保育園との交流	４回（１８６人）
５ 幅広い世代間の交流事業		５ 幅広い世代間の交流事業	
		（１）ふれフェス（３センター共通）	１回（３０８人）
		（２）ふれあい健康フェスタ（東部開催）	１回（２０６人）
		（３）カラオケDE交流会	７回（８９人）

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
【東部圏域地域福祉ネットワークづくり】	【東部圏域地域福祉ネットワークづくり】
１ 東部圏域地域福祉ネットワークの構築	１ 東部圏域地域福祉ネットワークの構築
	（１）会議への参加
	・地域福祉推進員等連絡会議　２４回
	・生活支援コーディネーター、包括支援センター打合せ１回
	・生活支援コーディネーター会議　５回
	・全世代対応型支援体制検討チーム事務局会議　２回
	・介護保険課、中央包括支援センター打合t　２回
	・民生児童委員協議会地区会への参加　９回
	・市民ワークショップ　１回
	・圏域間の情報共有、連携強化　２４回
	・東部圏域個別支援会議　７回
２　有償福祉サービス事業の実施	２　有償福祉サービス事業の実施
（１）生活支援サービスの実施	（１）生活支援サービスの実施
	・生活支援サービスの提供　４３回
（２）有償サービスの実施	（２）有償サービスの実施
	・有償サービス事業打合せ会議　８回
	・サポーター登録人数　９人
	・延べ活動人数　４１人
	・活動時間　４４時間
	・新規相談　１７件
	・新規利用登録　７件
	・しおりんサポータ連絡会　２回（２人）
	・福祉サポーター養成講座、ボランティアの集いで活動紹介

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
【利用者の福祉の増進】	【利用者の福祉の増進】
１ 講座の開催	１ 講座の開催
（１）地区講座　月１回　３地区	（１）地区講座　３６回（６１６人）
	・大門地区　１２回（２５９人）
	・塩尻東地区　１２回（２３２人）
	・北小野地区　１２回（１２５人）
（２）介護予防講座の開催　月１回　２講座	（２）介護予防講座の開催
	・銭太鼓　１２回（２４２人）
	・からだリフレッシュ体操　１２回（２２１人）
２ 福祉関係団体への会場提供　３５団体（2,500人）	２ 福祉関係団体への会場提供　５３団体　３１８回（2,940人）
３ バス運行業務	３ バス運行業務　８４回（1,354人）
４ 利用者からの意見・要望の把握	４ 利用者からの意見・要望の把握
（１）利用者懇談会の開催　１回	（１）利用者懇談会の開催　７月　１回
（２）利用者アンケートの実施	（２）利用者アンケートの実施
	・各講座終了時　３７回
	・全体　１回
（３）ご意見箱の設置	（３）ご意見箱の設置
（４）塩尻市社会福祉協議会苦情解決に関する委員会　２回／年	（４）塩尻市社会福祉協議会苦情解決に関する委員会　２回／年
５ ふれあいセンター運営委員会　１回／年	５ ふれあいセンター運営委員会　１回／年
（１）図書コーナーの利用	（１）図書コーナーの利用　８１７人
	（２）キッズスペース、卓球台設置
【施設維持管理】	【施設維持管理】
１ 管理保守点検等業務	１ 管理保守点検等業務
（１）建物保守管理業務	（１）建物保守管理業務
・特殊建物定期検査　１回／２年	・特殊建物定期検査　令和８年実施予定
	・職員による目視での点検　１回／週
（２）建築設備保守管理業務	（２）建築設備保守管理業務
・消防用設備点検業務　２回／年	・総合防災設備等点検　７・２月　２回／年
・電気保安業務　２回／年	・受電設備点検業務　５・７・９・１１・１・３月　６回／年
・自動ドア保守点検　３回／年	・自動ドア保守点検　４・８・１２月　３回／年
・ボイラー保守点検　２回／年	・ボイラー保守点検　６・１月　２回／年

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
・地下オイルタンク点検　１回／年	地下オイルタンク点検　7月　１回／年
（３）備品等保守管理業務	（３）備品等保守管理業務
・券売機点検	・券売機修繕 新紙幣対応、コインメック交換
・必要な備品の随時修繕	・必要な備品の随時修繕
	ヘルスジョガー、機械室雨水止水工事
・マイクロバスの定期点検	・マイクロバスの定期点検
	マイクロバス３か月点検　４月・７月・１１月
	マイクロバス車検　７月
・軽乗用車法定点検	・軽乗用車法定点検　７月
（４）清掃業務	（４）清掃業務
・毎日の清掃	・館内日常清掃・消毒　６日／週
	・第一駐車場トイレ清掃　６日／週
	・浴槽水質(残留塩素)測定　３回／日
	・感染予防の消毒　随時／日
	・ヘアキャッチャー清掃　６回／週
	・脱衣所ダニ駆除　８・３月　２回
	・年末大掃除　１２月　１回
（５）専門業者に委託した清掃・点検・検査	（５）専門業者に委託した清掃・点検・検査　２回／月
・館内のじゅうたん清掃、ワックスがけ、窓ガラス拭き他	・専門業者による館内清掃等　２回／月
・ろ過機、塩素注入器清掃点検	・ろ過機、塩素注入器清掃点検 10月　１回
・貯水槽点検清掃・水質検査	・貯水槽点検清掃・水質検査 11月　１回
・浴室ろ過循環配管薬品洗浄	・浴室ろ過循環配管薬品洗浄 6月　１回
・浴槽水質検査	・浴槽水質検査 8・2月　２回
（６）植栽等維持管理業務	（６）植栽等維持管理業務
・庭清掃、剪定、下草刈り	・庭清掃、剪定、草刈り、除草剤散布　随時
・警備業務	・警備会社（アルソック）に委託　３６５日
・除雪業務	・除雪業務　随時
・集金業務	・入浴料は券売機にて精算

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
【防犯、防災、緊急時の対応】	【防犯、防災、緊急時の対応】
・消防計画により訓練実施　２回／年	・塩尻東保育園、地域と合同防災訓練 １０・３月　２回（４１人）
	・福祉避難所立ち上げ訓練３月　１回（１６人）
	・AED・救急法講習３月　１回（１６人）
	・緊急対応連絡事項は常勤会、職員会議で周知
【職員研修】	【職員研修】
（１）職員研修の実施　５回	（１）職員研修の実施　１８回
	・塩尻市社会福祉協議会職員研修
	健康管理　３人
	管理者研修　１人
	発展強化研修　３人
	法人内一斉防災訓練　１３人
	・職場内研修
	防災計画役割説明　１３人
	緊急時避難経路誘導訓練　１３人
	交通安全運転研修　１５人
	感染症予防　１３人
	救急法AED講習　１６人
	地域共生社会の実現に向けた職員研修　３人
	重層的支援体制について　１１人
	災害対策本部研修　３人
	・職場外研修
	社協ブロック研修　２人
	交通安全運転管理者講習　１人
	危険物取扱保安講習　１人
	高齢者見守り活動　１人
	・地域合同訓練（研修）
	市民防災訓練　４人
	避難所立ち上げ訓練　１６人
	東保育園合同防災訓練　１０人

２ 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 （ア）	前年度実績 （イ）	対前年 （ア）／（イ）
開館日数	304日	303日	304日	99.7%
施設利用者	23,200人	25,551人	22,870人	111.7%
施設利用者数（団体）	23,200人	3,128人	2,555人	122.4%
施設利用者数（個人）		18,973人	17,480人	108.5%
施設利用者数（講座）		3,450人	2,835人	121.7%
入浴者数		14,687人	12,840人	114.4%
入浴券売上	2,989,000円	4,017,600円	3,173,400円	126.6%
健康相談		4,765人	4,176人	114.1%
福祉相談		567人	875人	64.8%

３ 利用目標の達成状況に対する評価・分析（指定管理者、施設担当課）

指定管理者の 評価・分析	・入浴利用者数では905人増・5.2%増であった。全体利用の年代別では、１０代が18.2%増・２０代から５０代19.3%増　６０代から７０代が2.2%減であった。 ・総合相談は、1,133件から1,177件と3.8%増であった。地域推進員と相談員の役割が明確になり、個別支援、地域支援等を行い、相談内容や相談経過について職員間で共有ができ、関係機関へ繋げ、見守り活動を継続した。センター職員は、利用者と相談しやすい雰囲気・関係づくりに努め、相談を受ける意識が高まった。 ・介護保険課と連携して、制度のはざまにある方に対して講座を行い、参加者全員を必要なサービスへ繋ぐことができた。 ・２８分会へ聞き取りを実施し、各分会から、企画員・協力員の役割説明や、ふれあい食事サービスに関する事、各種申請方法などの相談が寄せられ、優先順位の高い課題から支援・説明を行った。分会ごと課題が異なるため、支部単位では発見や解決が難しい課題も、身近な組織である分会では、把握しやすく、具体的な支援に繋げやすいことが確認できた。 ・北小野地区振興会の車両を使って、移動支援の本格運行が順調に運行が出来た。 ・東部の総合相談を知っていただくために、講座やイベントを開催し、アンケートを実施して要望を取り入れ、SNS等で周知を行った。
施設担当課の 評価・分析	・施設利用者数（全体）は対前年比で11.7%増加しており、特に１０代～５０代の若年層の利用者が増加している。継続的な周知活動や、工夫を凝らした講座、自主事業による成果である。 ・福祉の総合相談窓口としてコミュニティソーシャルワーカーを軸に、相談内容の共有や関係機関との連携が図られており、住民にとって身近な窓口としての機能が高まっている。 ・分会単位への細やかな聞き取りや、移動支援をはじめとする地域課題の解決に向けた伴走支援を行い、地域福祉の活性化に貢献している点を高く評価する。制度の狭間にある世帯を適切にサービスへ繋ぐ取組も進められている。 ・光熱水費や人件費の高騰により収支は赤字となっている。物価高騰による厳しい経営環境を踏まえ、福祉サービスの提供と経営の安定を両立させるための収支改善策をさらに検討する必要がある。

4 収支状況(指定管理者)

（単位：円）

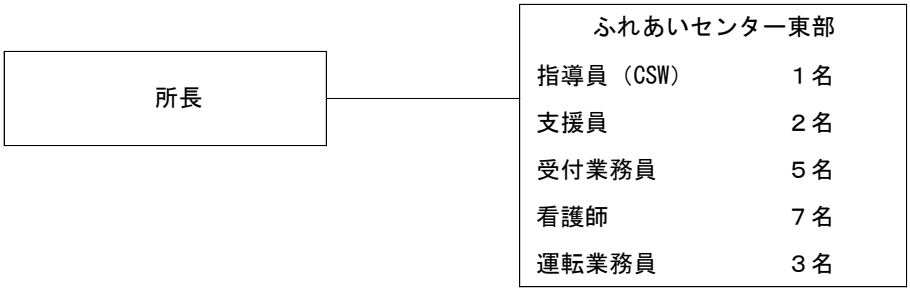
	項　目	当初計画	実績（ア）	前年度実績（イ）	対前年（ア）／（イ）
収入	・指定管理料	33,210,000	33,199,410	33,210,000	100.0%
	・利用料収入	2,989,000	4,018,200	3,232,800	124.3%
	・講座参加費収入	0	0	1,350	皆減
	・受入研修費収入	0	0	0	0.0%
	・寄付金収入	0	0	0	0.0%
	・会費収入	0	0	0	0.0%
	・雑収入	54,000	62,255	311,233	20.0%
	収入計（A）	36,253,000	37,279,865	36,755,383	101.4%
支出	・人件費	19,626,000	21,233,497	20,026,569	106.0%
	・保健衛生費	143,000	52,580	78,650	66.9%
	・教養娯楽費	38,000	36,236	40,970	88.4%
	・水道光熱費	6,660,000	7,284,440	6,547,108	111.3%
	・燃料費	2,814,000	2,882,770	2,794,110	103.2%
	・消耗器具備品費	183,000	212,179	232,188	91.4%
	・保険料	254,000	270,074	259,910	103.9%
	・賃借料（車輌）	188,000	132,000	135,299	97.6%
	・車輌費	281,000	75,347	50,374	149.6%
	・職員被服費	0	0	18,254	皆減
	・諸謝金	1,180,000	1,137,500	1,135,000	100.2%
	・旅費交通費支出	0	0	3,545	皆減
	・研修研究費	5,000	10,400	9,500	109.5%
	・事務消耗品費	0	0	0	0.0%
	・印刷製本費	15,000	19,250	14,410	133.6%
	・修繕費	380,000	463,210	470,030	98.5%
	・通信運搬費	289,000	321,356	232,270	138.4%
	・会議費	0	0	0	0.0%
	・業務委託費	2,498,000	2,378,571	2,464,660	96.5%
	・手数料	34,000	45,100	33,550	134.4%
	・保険料（火災）	12,000	11,504	11,257	102.2%
	・賃借料	196,000	212,233	200,387	105.9%
	・土地･建物賃借料	13,000	0	0	0.0%
	・租税公課	2,000	1,000	1,450	69.0%
	・保守料	986,000	638,369	725,566	88.0%
	・諸会費	6,000	6,000	6,000	100.0%
	・雑支出（退職年金事務費等）	18,000	17,724	16,476	107.6%
	・退職手当、年金共済掛け金	432,000	488,250	454,423	107.4%
	支出計（B）	36,253,000	37,929,590	35,961,956	105.5%
	収支（A）－（B）	0	△ 649,725	793,427	－
	・事務諸経費	2,657,000	2,655,953	2,656,800	100.0%

５ 財務状況を示す指標（指定管理者）

指　標		当年度	前年度
自己資本比率	(資本/資産×100)	81.3%	82.8%
負債比率	((流動負債＋固定負債)/資本×100)	23.1%	20.8%
固定比率	(固定資産/資本×100)	100.4%	95.0%
流動比率	(流動資産/流動負債×100)	403.3%	516.2%
総資産経常比率	(経常利益/総資産×100)	-0.3%	1.2%

６ 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
管理者１名（常勤） 社会福祉士（CSW）１名（常勤） 支援員１名（常勤） 理学療法士又は健康運動指導士１名（兼務） 支援員（受付・施設管理）５名（非常勤） 看護師６名（非常勤） 運転手１名（非常勤） 防火管理者・危険物取扱者・衛生推進員（いずれかの職種が兼務）	管理者　１名（常勤） 社会福祉士（CSW）　１名（常勤） 支援員　１名（常勤） 理学療法士又は健康運動指導士　１名（兼務） 支援員（受付・施設管理）　５名（非常勤） 看護師　７名（非常勤） 運転手　３名（非常勤） 防火管理者・危険物取扱者・衛生推進員（いずれかの職種が兼務）



７ 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画		実　績	
地域交流事業		地域交流事業	
・ふれフェス	１回/年	・ふれフェス	１回
・ふれあい健康フェスティバル	１回/年	・ふれあい健康フェスタ	１回
		・ちょこっと健康トレーニング	６回
・カラオケDE交流会		・カラオケDE交流会	７回
・就労支援事業所と青空マルシェ		・就労支援事業所と青空マルシェ	５９回
・季節のお風呂		・季節のお風呂	９回
利用者懇談会	１回/年	利用者懇談会	１回
苦情解決に関する委員会	１回/年	苦情解決に関する委員会	１回
アンケート調査		アンケート調査	３８回

８ 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は５段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。
例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「３」となります。
評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
５	： 120 % 以上
４	： 101 ～ 119 %
３	： 81 ～ 100 %
２	： 61 ～ 80 %
１	： 0 ～ 60 %

（１）実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
（１）評価点合計（16項目）			52					52				

（２）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（１）評価点合計（8項目）			23					24				

（３）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（３）評価点合計（16項目）			52					52				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計（満点164点）	指定管理者	127点	77.4%	施設担当課	128点	78.0%

８（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
（１） 実施体制	3	職員による積極的な利用促進活動を実施した結果、利用者満足度の向上と安定した事業運営に繋がり、全体利用者数は、前年度比11.7%増、利用料収入についても24.3%増となった。	3	利用者は対前年比で11.7%増加しており、特に１０代～５０代の若年層の利用も増加している。工夫を凝らした企画や、SNS等による広報活動の成果と考えられるため。
	4	利用者の安全確保及び緊急時の避難体制の強化を目的として、浴室ドア及び窓の修理を実施した。 定例会において職員間で避難経路の確認を行い、災害時発生時の避難方法や防災計画について説明・周知を行った。	4	浴室ドアの修繕や、職員間での避難経路の確認、防災計画の周知など、利用者の安全を確保するための具体的なアクションが定例会等を通じて継続的に行われているため。
	9	職員の専門性向上及び質の向上を目的として、重層的支援体制に関する研修・地域共生社会の実現に向けた研修をはじめ、各種職員研修を積極的に実施した。	9	職場内外で幅広い研修（災害・福祉・重層的支援体制）を計画的に実施している。また、相談事例を職員間で共有・検討する等職員全体での相談対応力の向上に繋がっているため。
（２） 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理できた。	17	適切な管理に努めることができているため。
	21	経費節減に努めたものの、物価高騰や光熱水費の上昇、人件費の増加などにより支出が増え、収支が赤字となってしまった。	21	物価高騰等の外部要因で厳しい経営環境の中でも、利用者の安全・快適性を最優先しながら収支改善に努めていただいたため。今後も市と連携し、持続可能な体制を検討したい。
	24	経費削減への取組として、入浴設備の温度管理を適切に行い、燃料費及び光熱水費の努め、利用者の快適性や安全性を確保しながら、効率的な設備運用を行い経費削減に努めた。	24	物価高騰により燃料費や光熱水費が高騰する中、利用者の快適性と安全性を優先しながら、細やかな管理によって経費削減に努めているため。特に負担の大きい設備維持管理において、工夫を凝らした運営で対応している点を評価する。
（３） サービス等の内容や水準	28	地区懇談会において、地域における交通手段の不足や移動に関する意見が出され、地域住民の日常生活や境参加に影響を及ぼしている現状を共有し、交通課題の解決に向けた検討会と関係機関と連携しながら試験運行を行った。	28	地区懇談会に積極的に参加し、住民の声を丁寧に広い上げている。課題やニーズの把握にとどまらず、伴走支援を行い、具体的な取り組みにつなげることができた点を高く評価できるため。
	33	健康づくりを推進するために、「健康フェスタ」を開催し、健康に関する情報提供や啓発活動を実施した。 「ちょこっと健康トレーニング教室」を実施し、制度の狭間にある方への支援を行った。	33	自主事業として「健康フェスタ」を開催し、地域のニーズや住民との関係性を深める取り組みが評価できる。また、制度のはざまにある方にも関係機関と連携しながら丁寧に関わり、取りこぼさない支援が出来ているため。
	34	チラシの配布や施設利用者への積極的な声がけを行い、併せて「かわり湯」の実施やイベントの開催に取り組んだ。 マルシェにおいては、障がい者施設と協力し、出店や交流の機会を設けた。	34	多世代の利用を促進するため、工夫を凝らしたイベント、講座の開催がされている。また障がい者施設との連携により、多様な層へ開かれた居場所を提供できているため。

９ 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価
	・苦情、事故が無く施設設備管理が行え、安心・安全に利用していただけた。 ・地域共生社会の実現及び、地域の総合相談窓口の周知に向け、２８分会へ出向き、地域住民のニーズや課題の把握・支援ができた。また、窓口職員も直接利用者に対応できるようになった。 ・各種自主事業、イベントを実施して周知を行い、利用者増、収入増につながったが、物価上昇・光熱費や人件費の増加により、収支が赤字となってしまった。 ・狭間にある方への居場所づくりを行い、参加者全員を必要な支援機関へ繋げることができた。 ・講座および施設利用者に関しても、介護保険課や地域包括支援センターと情報共有を行い、継続的な見守り活動につなげることができた。 ・地域福祉活動計画の見直しとして、調査・アンケートを実施した。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）
	・介護予防プログラムのeスポーツの、実施回数を増やす。 ・親子参加型の企画を実施する。 ・ホームページやインスタグラムなどでの情報発信ができたが、更に充実をさせていく。 ・支部単位の課題に対する相談支援を進める。 ・ふれあいセンター東部の事業所避難所マニュアルの修正と対応研修を行い、収支改善に向けて経費削減と業務効率化を進める。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）
	・生きがい講座・元気づくり広場・介護予防講座の在り方の見直し検討を行う。 ・ふれあいセンターが地域の総合相談窓口、福祉の拠点となるため多くの市民へ周知を行う。 ・支部分会役員の負担軽減為、見守り活動の見直しを進める。 ・支部分会活動が継続して行えるための担い手の育成とあり方の検討を進める。 ・有償福祉サービスしおりんお助け隊メンバーの増員の対策を行う。 ・社協分会の課題に対して、分会単位での地域支え合いグループを立ち上げの支援を行う。 ・指定管理施設の目的に照らして、運営時間や方法、適正な職員配置等について、再検討を行う。
施設担当課	地区懇談会や、利用者懇談会等の場を積極的に活用し、住民の声を丁寧に拾い上げながら、地域福祉の拠点として質の高いサービスを提供している。特に、住民の声から把握した交通課題に対して、丁寧な伴走支援や関係機関との連携を行い、試験運行の具体的な取り組みにつなげることができた点が大きな成果である。また、制度のはざまにある方への講座開催についても、単なる情報提供にとどまらず、個々の状況に寄り添った丁寧な関わりを通じて必要な支援へと繋げており、多様な層に開かれた居場所になっている。今後は、物価高騰による厳しい経営環境を踏まえ、市と連携をしながら、福祉サービスの提供と経営の安定を両立させるための持続可能な体制作りに取り組んでいただきたい。